



丸文株式会社

2023年3月期 第2四半期決算説明

2022年11月7日



東証プライム市場 7537

アジェンダ

1. 2023年3月期 第2四半期 連結決算の概要

2. 中期経営計画の取組み状況

3. 2023年3月期 通期業績予想の概要

4. 株主還元

5. 参考資料

1. 2023年3月期 第2四半期 連結決算の概要

2023年3月期 第2四半期 決算サマリ

- ▶ 民生機器向け半導体や電子部品の需要が伸長、医用機器やレーザー機器も好調に推移
- ▶ 営業利益は+104%と大幅な増益となったが、急速な円安進行で為替差損を計上したことにより、経常利益・四半期純利益は減益

(百万円)	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		前年 同期比	予想比	
	実績	売上比	予想(5/13)	実績			売上比
売上高	80,574	—	91,000	101,022	—	+20,448 (+25.4%)	+10,022 (+11.0%)
売上総利益	9,417	11.7%	9,200	12,708	12.6%	+3,291 (+34.9%)	+3,508 (+38.1%)
販管費	6,841	8.5%	7,600	7,440	7.4%	+599 (8.8%)	△160 (△2.1)
営業利益	2,575	3.2%	1,600	5,267	5.2%	+2,692 (104.6%)	+3,667 (229.2%)
経常利益	2,104	2.6%	1,300	1,135	1.1%	△969 (△46.0)	△165 (△12.7)
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,256	1.6%	750	469	0.5%	△787 (△62.6)	△281 (△37.5)

2023年3月期 第2四半期 事業別決算サマリ

※ 2022年3月期実績は、3事業再編後の数値に組み替えております

■ デバイス事業

民生機器・産業機器向けの増加により増収

(百万円)	2022年3月期 第2四半期※	2023年3月期 第2四半期	前年同期比 (増減率)
売上高	57,849	76,320	+18,471 (+31.9%)

■ システム事業

医用機器・レーザ機器の増加により増収

(百万円)	2022年3月期 第2四半期※	2023年3月期 第2四半期	前年同期比 (増減率)
売上高	21,983	23,902	+1,919 (+8.7%)

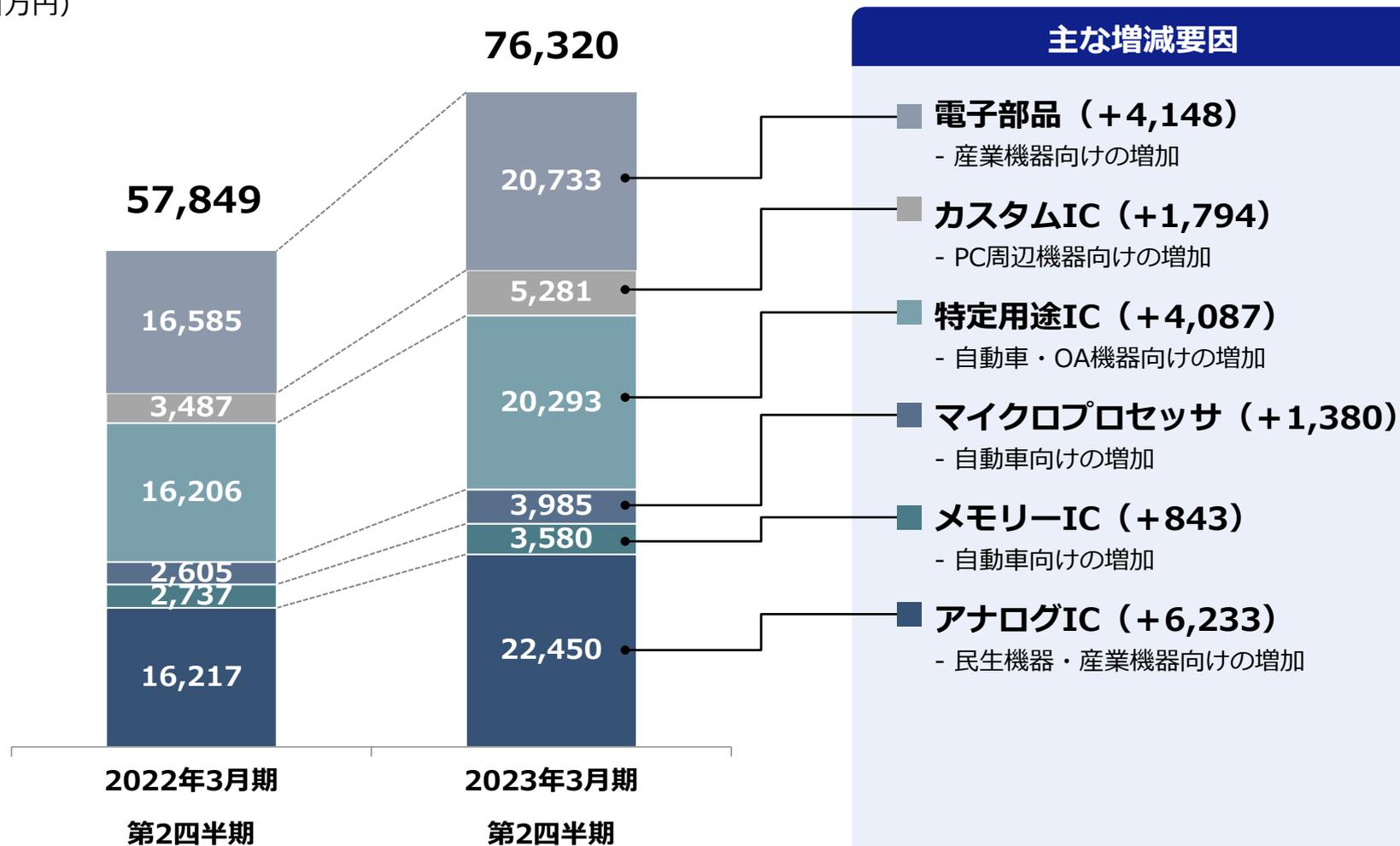
■ ソリューション事業

光通信コンポーネントの増加により増収

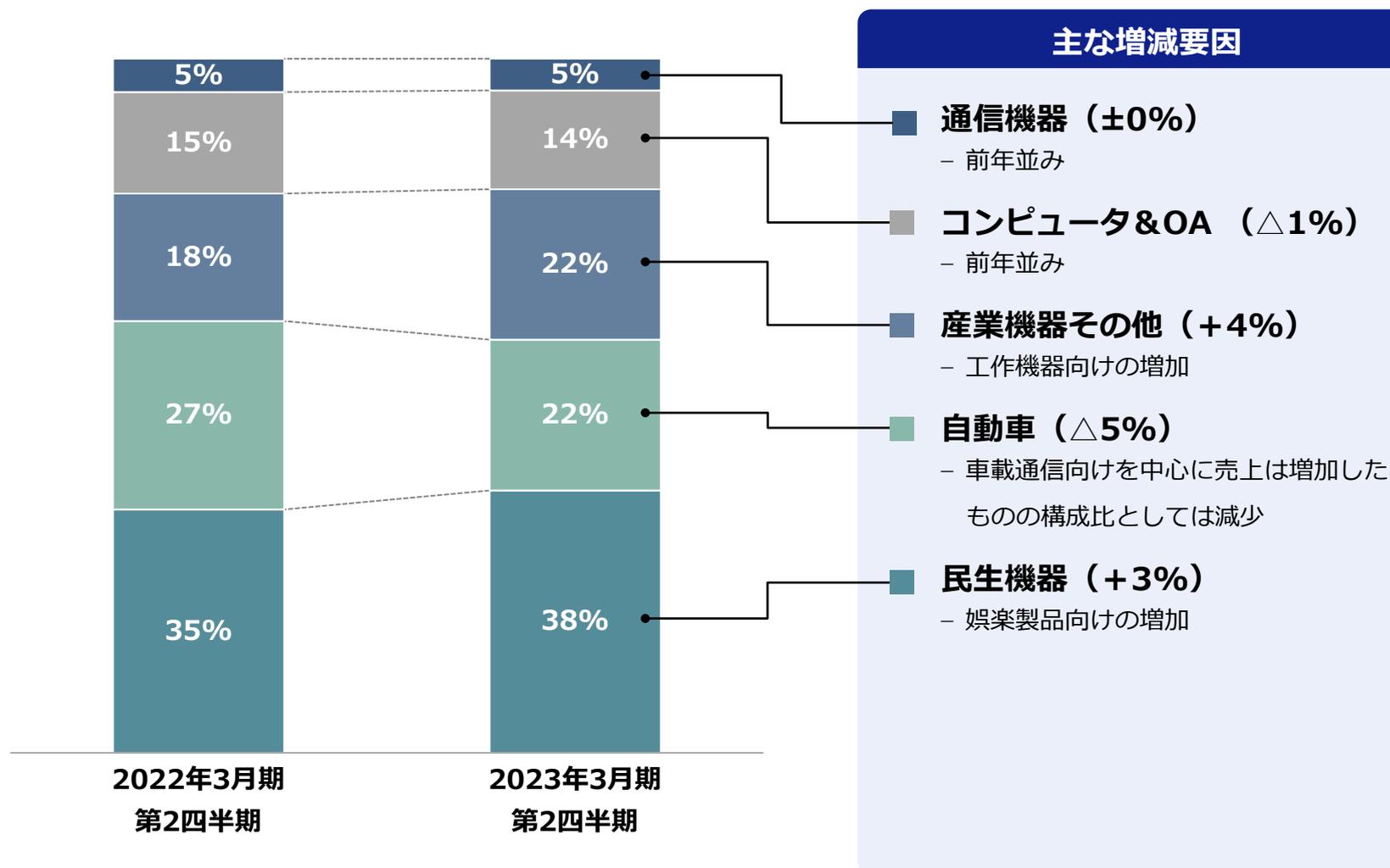
(百万円)	2022年3月期 第2四半期※	2023年3月期 第2四半期	前年同期比 (増減率)
売上高	741	799	+58 (+7.8%)

2023年3月期 第2四半期 『デバイス事業』 品目別売上高

(百万円)

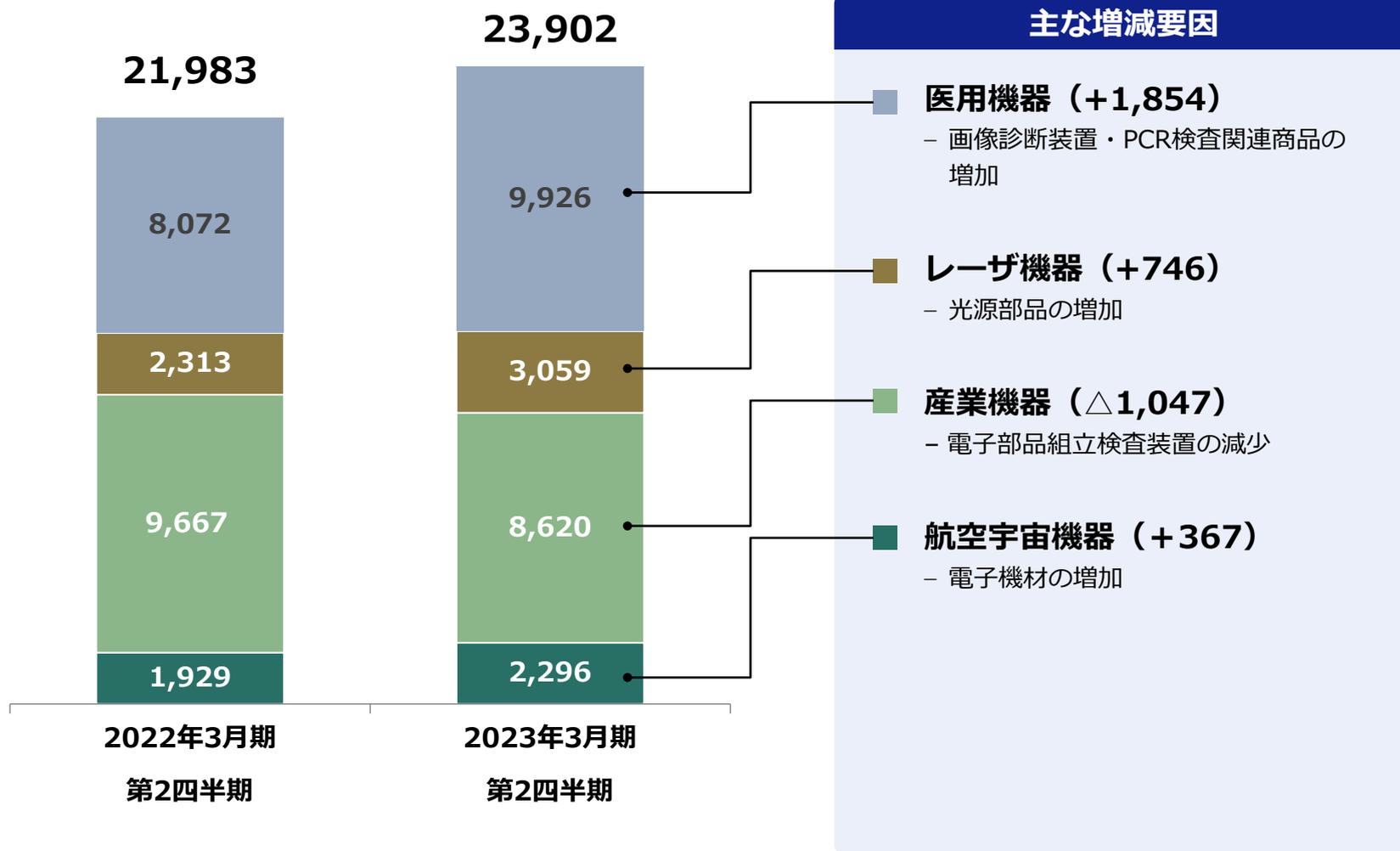


2023年3月期 第2四半期 『デバイス事業』 用途別構成比



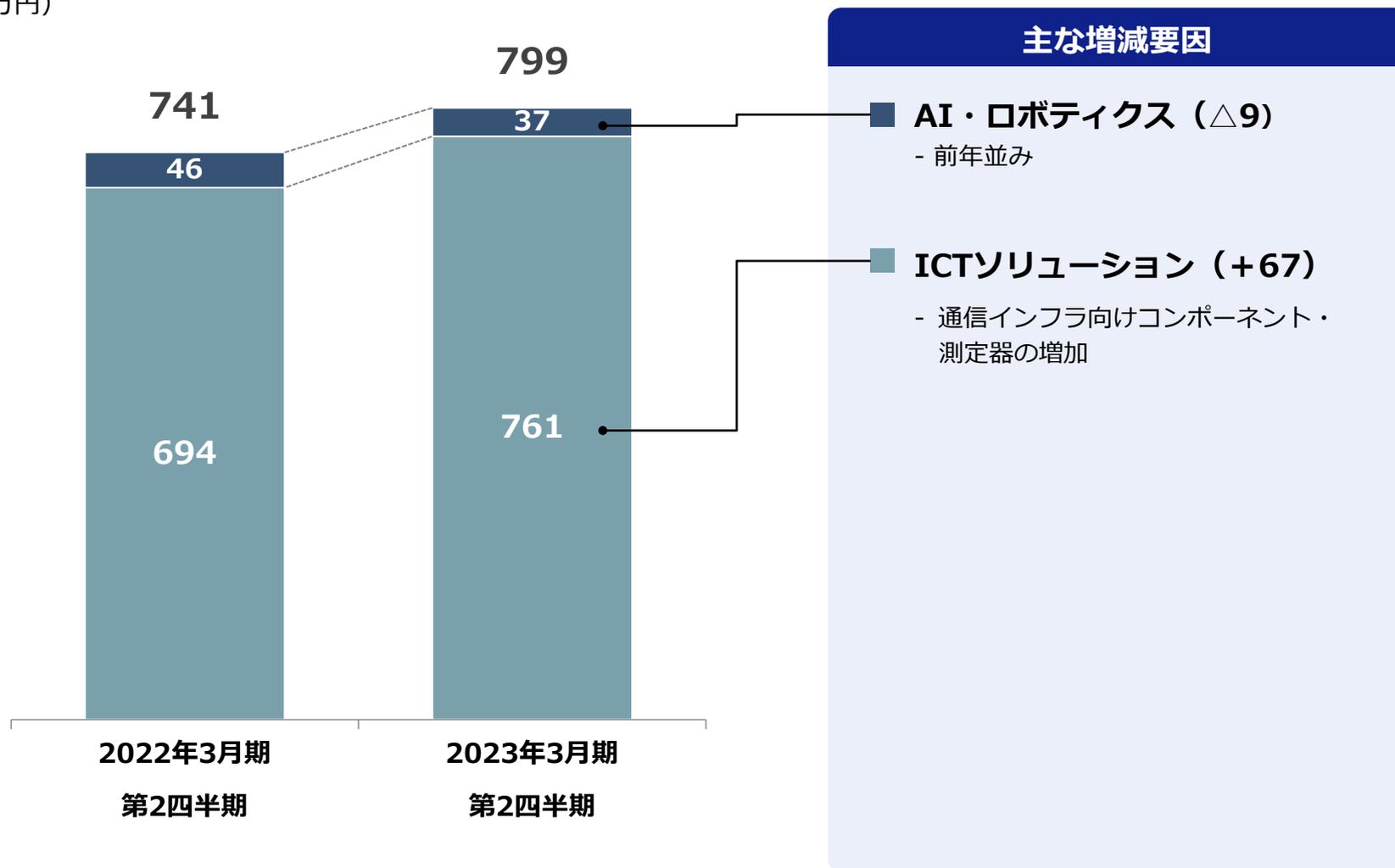
2023年3月期 第2四半期 『システム事業』 品目別売上高

(百万円)



2023年3月期 第2四半期 『ソリューション事業』 品目別売上高

(百万円)



2023年3月期 第2四半期 貸借対照表の概要

- ▶ 総資産は、商品及び製品の増加等により 前期末に比べ144億円増加
- ▶ 負債は、短期借入金増加により 前期末に比べ122億円増加

(百万円)	2022年3月期末	2023年9月期末	前期末比
資産合計	148,179	162,608	+14,429
流動資産	137,604	151,893	+14,289
現金及び預金	25,245	19,645	△5,600
受取手形及び売掛金	44,215	52,106	+7,891
商品及び製品	30,313	44,036	+13,723
未収入金	35,087	32,598	△2,489
固定資産	10,575	10,714	+139
負債合計	100,604	112,825	+12,221
流動負債	94,746	107,014	+12,268
支払手形及び買掛金	21,121	23,718	+2,597
短期借入金	48,672	65,544	+16,872
未払金	21,855	14,264	△7,591
固定負債	5,858	5,810	△48
純資産合計	47,574	49,782	+2,208

2. 中期経営計画の取組み状況

中期経営計画「丸文 Nextage 2024」

企業 スローガン 『未来をつなぐ、技術で繋ぐ。』

2024年度 財務目標

経常利益 **60** 億円以上 ROE **8%** 以上

丸文 Nextage 2024 基本方針

■ サステナビリティ 経営の推進

持続可能な成長実現に向けたESG・SDGsへの取組みを推進し、ステークホルダーとの連携強化や課題解決型ビジネスの実践を通じ、社会的価値を追求します

■ 新たな事業領域への進出と 成長基盤の構築

新市場・新領域における果敢な挑戦を通じ、新たな事業成長機会を継続的に追求します

■ 既存事業の「選択と集中」の 促進とソリューション開発強化

お客様視点でのソリューション開発を加速しつつ、既存事業の「選択と集中」を通じた競争力強化を図ります

■ 連結グループ経営の強化

セグメント間（デバイス、システム、ソリューション事業間）連携による付加価値と国内外グループ企業間の連携によるグローバルシナジーを実現し、成果をお客様に還元します

■ 業務基盤の整備と内部プロセス の改善

業務インフラ強化や業務プロセス改善、人材育成、働き方改革により、生産性・効率性を向上します

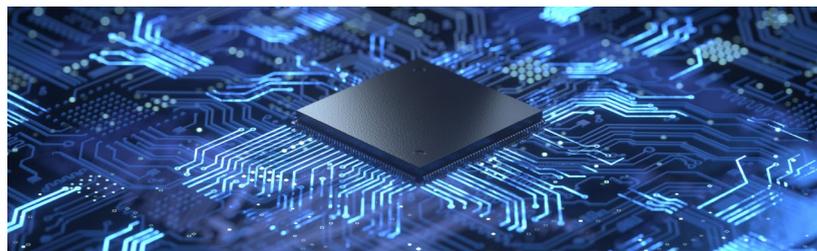
デバイス事業の取組み

事業戦略

- 新規商材・新規商権の開発推進
- 既存事業の収益性の維持・向上

■ 新たな商材の開発や商権の確保の取組み

- ▶ Analog Devices, Inc.と代理店契約を締結
- ▶ 高性能アナログICをはじめとした各種ハードウェア、ソフトウェア、システム・ソリューションをラインナップに追加



■ 業務効率の改善の取組み

- ▶ 約240社の仕入先の豊富なラインカードを組み合わせ、お客様に最適なソリューションを開発・提供
- ▶ RPAの積極活用による効率化推進



システム事業の取組み

事業戦略

- 新規領域における事業規模と収益基盤の拡大
- 既存領域における競争優位性の強化
- グループ連携の強化

分野ごとの取組み

航空宇宙 機器



- ▶ New Space分野にプロモーション展開
- ▶ 通信用アンテナのシステム提案を推進

レーザー機器



- ▶ レーザ発振器や光デバイスなどのベースビジネスを強化
- ▶ 超短パルスレーザーの応用アプリケーションを開発し、新規市場を開拓

産業機器



- ▶ 最先端デバイス開発向け検査・解析装置の販売に注力
- ▶ スマートファクトリー化を支援する技術や商材を拡充

医用機器



- ▶ PCR検査関連商材が好調に推移
- ▶ 地域の医療機関との関係強化、新たなニーズの発掘とシェア拡大

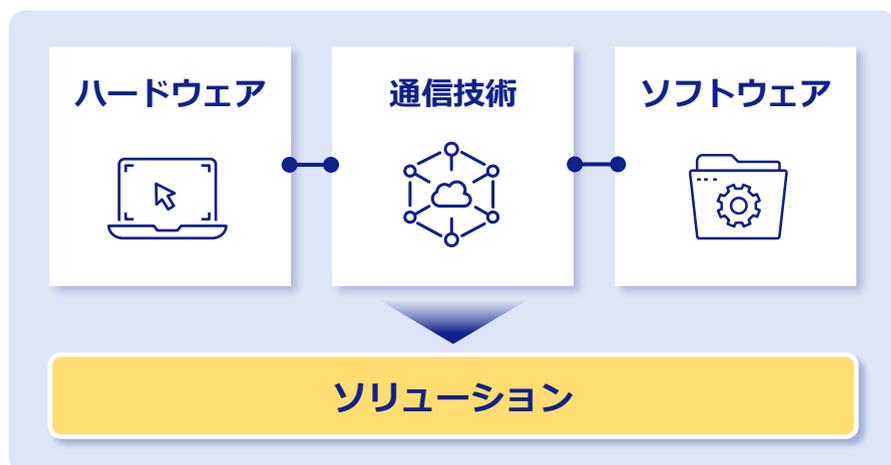
ソリューション事業の取組み

事業戦略

- 高付加価値ビジネスの開発推進
- 新規ビジネスモデルの構築と拡大
- ソリューション開発力の向上とグループシナジーの創出

ICTソリューションの取組み

- ▶ データセンター向けに提案活動を推進し、大型案件を獲得
- ▶ サードパーティと連携し、スマートファクトリー向けなど新たな市場の開発を推進



AI・IoTソリューションの取組み

- ▶ オフィスビルへのAIロボットの展開を開始、セールスパートナーと協働して全国販売を展開
- ▶ 無線給電技術分野ではWireless IoT Sensorを共同開発。無線給電の実用・商用化に必要なサポート体制の整備に取り組む



アイオロス社
AIヒューマノイドロボット



オシア社
無線給電技術Cota

サステナビリティへの取組み

- 代表取締役社長を委員長とした「サステナビリティ委員会」を設置し、サステナビリティ経営を推進

サステナビリティ委員会の設置

- ▶ 2021年12月にサステナビリティ委員会を新設し、サステナビリティ基本方針を制定
- ▶ 持続可能な社会づくりに向けての当社課題を抽出、TCFD提言に基づく情報開示を実施



今後の取組み

- ▶ 連結ベースでのサステナビリティ情報の拡充
- ▶ 温室効果ガス排出削減目標等の設定を検討

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



3. 2023年3月期 通期業績予想の概要

2023年3月期 通期業績予想 サマリ

- ▶ 民生機器・産業機器向け半導体やレーザー機器の売上増加を見込む
- ▶ 売上の増加や円安進行に伴う売上総利益の押し上げ効果により、
営業利益は大幅な増加を見込むとともに、経常利益・当期純利益も増益の見通し

(百万円)	2022年3月期		2023年3月期			前年度比	予想比
	実績	売上比	前回予想 (5/13)	今回予想 (10/28)	売上比		
売上高	167,794	—	195,000	220,000	—	+ 52,206 (31.1%)	+25,000 (+12.8%)
売上総利益	20,251	12.1%	20,500	26,000	11.8%	+ 5,749 (28.4%)	+5,500 (+26.8%)
販管費	14,257	8.5%	15,400	15,500	7.0%	+ 1,243 (8.7%)	+100 (0.6%)
営業利益	5,994	3.6%	5,100	10,500	4.8%	+ 4,506 (75.2%)	+ 5,400 (105.9%)
経常利益	4,106	2.4%	4,500	5,000	2.3%	+ 894 (21.8%)	+500 (11.1%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	2,437	1.5%	2,900	2,950	1.3%	+ 513 (21.1%)	+50 (1.7%)

2023年3月期 事業別業績予想サマリ

※ 2022年3月期実績は、3事業再編後の数値に組み替えております

■ デバイス事業

上期に引き続き 民生機器や産業機器の増加を見込む

(百万円)	2022年3月期 実績※	2023年3月期 予想	前年度比
売上高	117,442	160,500	+43,058 (+36.7%)

■ システム事業

高水準の受注残をもとに、全ての品目で増加を見込む

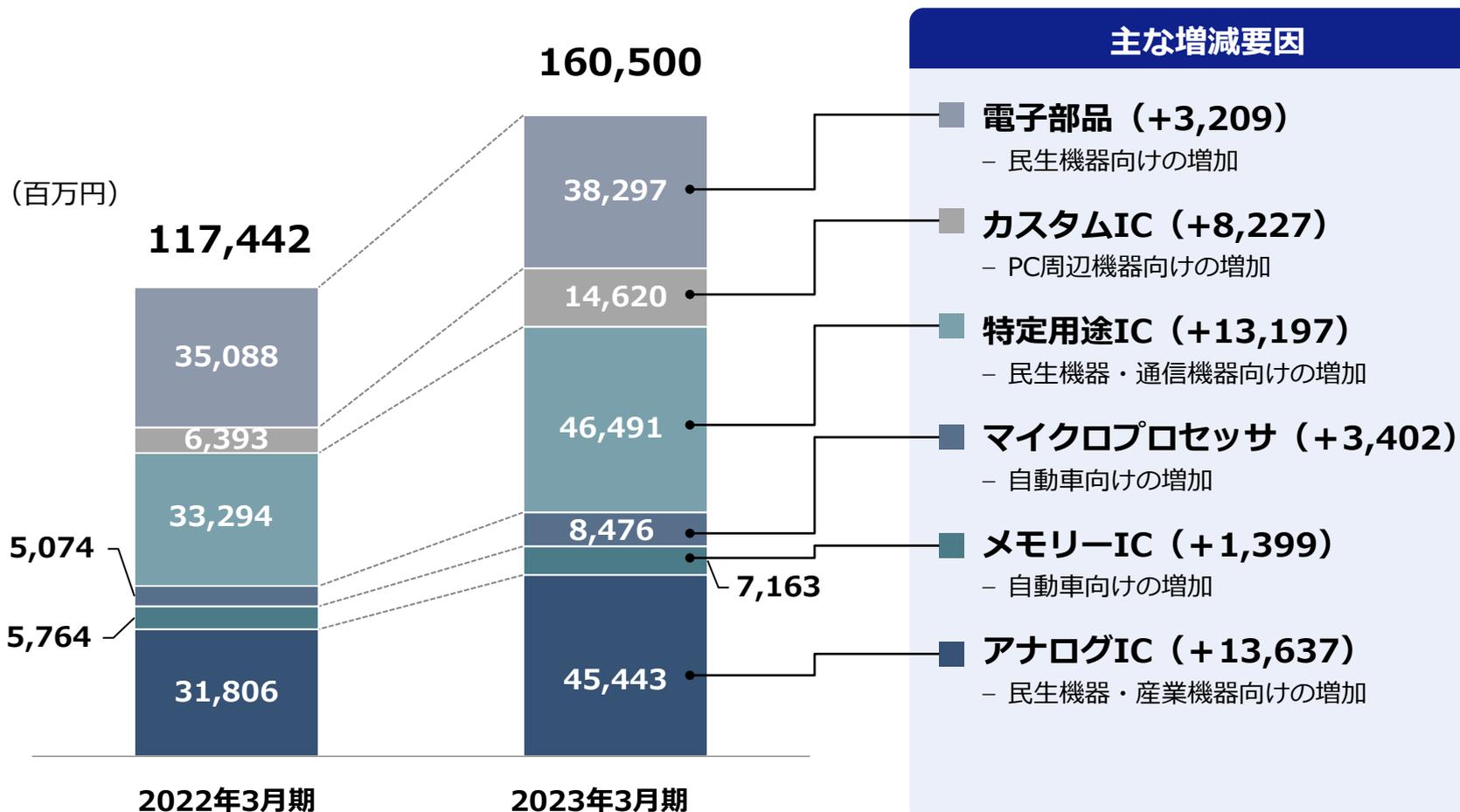
(百万円)	2022年3月期 実績※	2023年3月期 予想	前年度比
売上高	48,230	57,050	+8,820 (+18.3%)

■ ソリューション事業

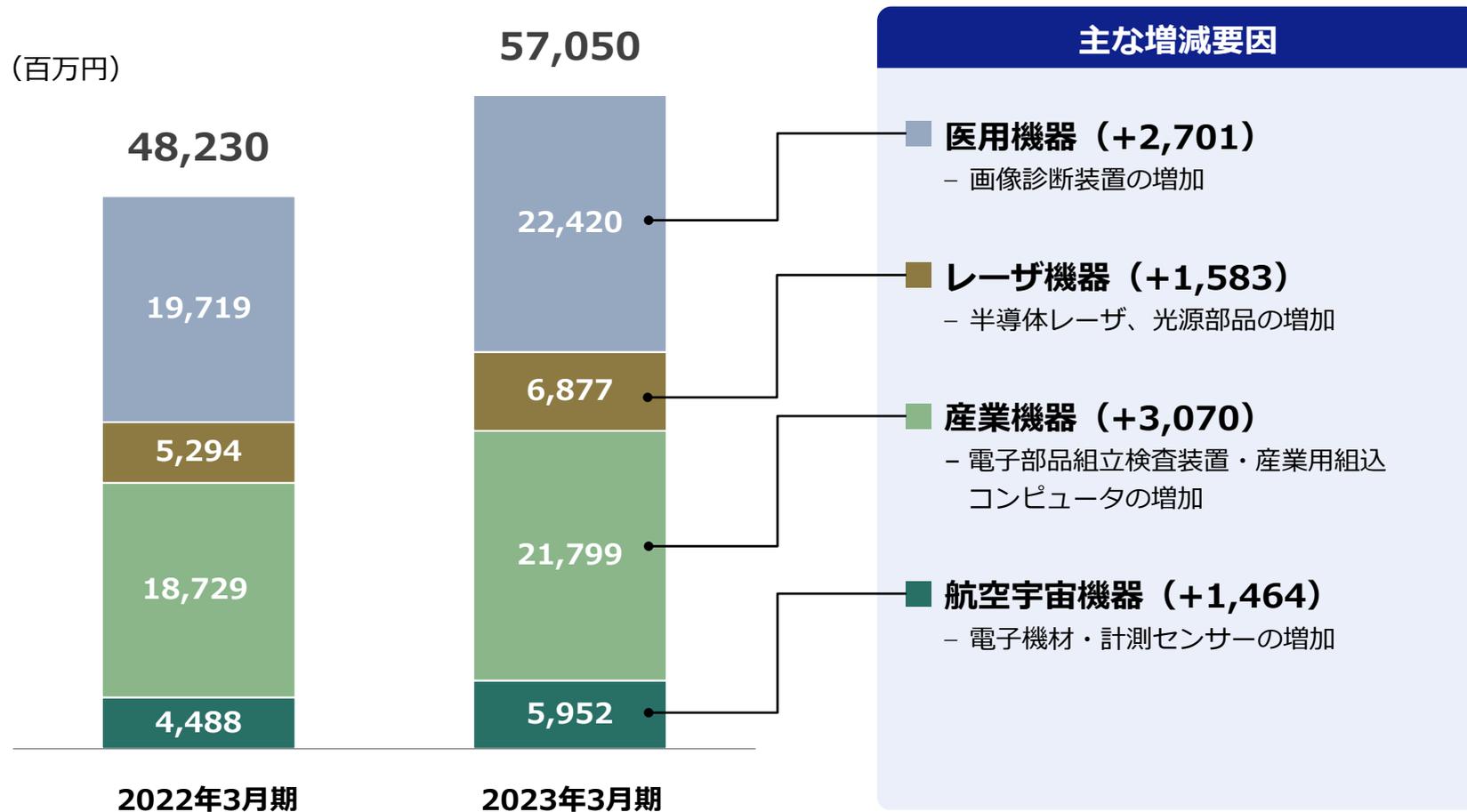
ローカル5G関連商材や自動車向け通信検査装置が増加する見込み

(百万円)	2022年3月期 実績※	2023年3月期 予想	前年度比
売上高	2,121	2,450	+329 (+15.5%)

2023年3月期 『デバイス事業』 品目別売上高予想

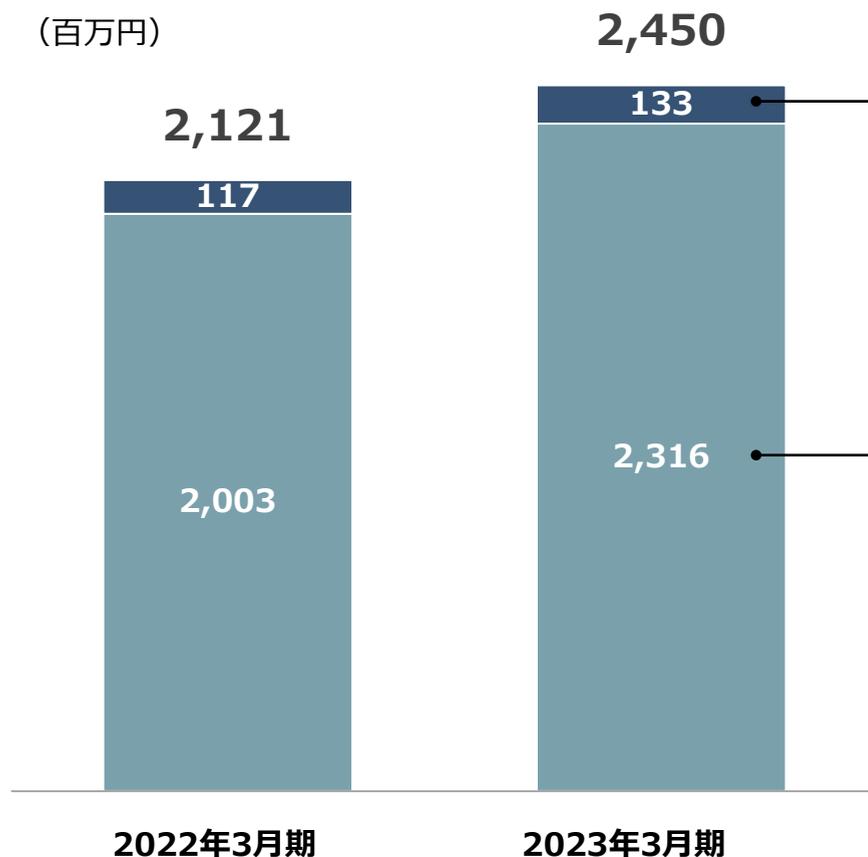


2023年3月期 『システム事業』 品目別売上高予想



2023年3月期 『ソリューション事業』 品目別売上高予想

(百万円)



主な増減要因

- **AI・ロボティクス (+16)**
- 前年度並み
- **ICTソリューション (+313)**
- ローカル5G向け試験装置・自動車向け通信検査装置の増加

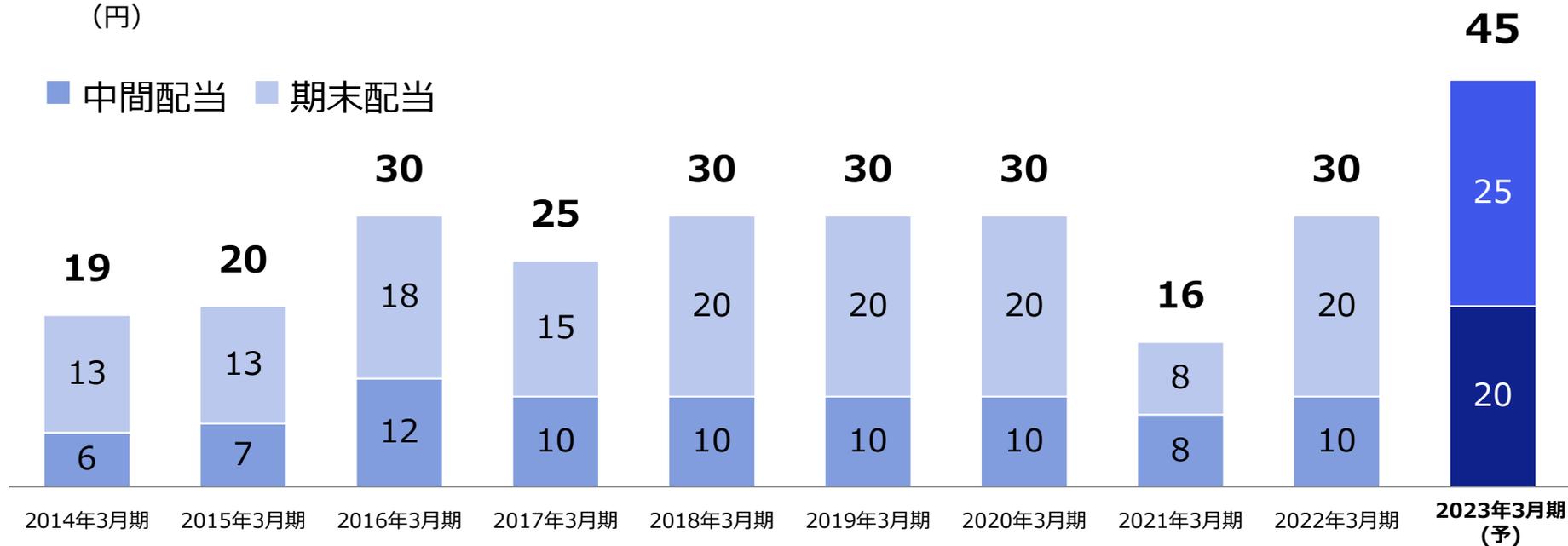
4. 株主還元

▶ 配当方針：連結配当性向40%以上を目安に、継続的かつ業績に応じた配当を実施

年間配当 45円予定
(前年比 15円の増配見込み)

(円)

■ 中間配当 ■ 期末配当



おかげさまで、当社は設立75周年を迎えました

75th
Anniversary



Marubun Since 1844

5. 参考資料

企業概況

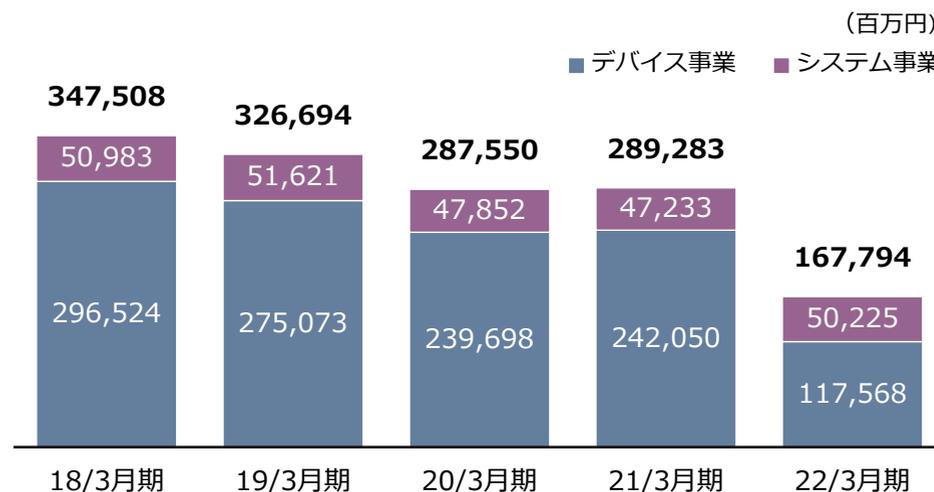
会社概要

創 業	1844年（弘化元年）
設 立	1947年（昭和22年）7月
所 在 地	東京都中央区日本橋大伝馬町8番1号
資 本 金	62億1,450万円
決算期日	3月31日
代 表 者	代表取締役社長 飯野亨
売 上 高	連結 167,794百万円（2022年3月期） 単体 120,062百万円（2022年3月期）
従業員数	連結 1,119名（2022年3月末） 単体 577名（2022年3月末）
株式上場	東京証券取引所 プライム市場 （コード:7537）

事業領域

デバイス事業	システム事業	ソリューション事業
<ul style="list-style-type: none"> ■ 半導体 ■ 電子部品 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 航空宇宙機器 ■ 産業機器 ■ レーザ機器 ■ 医用機器 	<ul style="list-style-type: none"> ■ ICTソリューション ■ AI・ロボティクス

連結売上高の推移



沿革

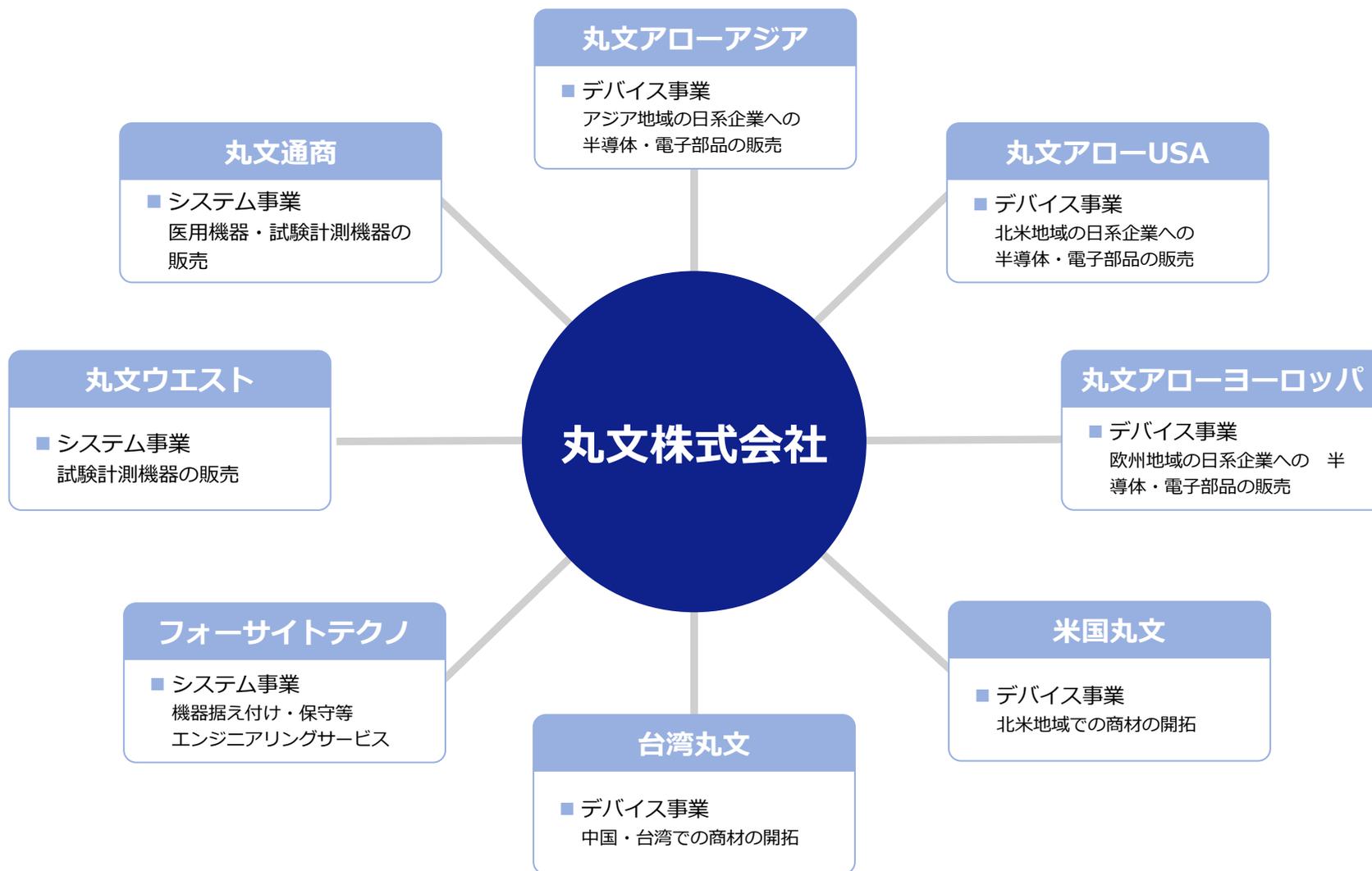
国内

- 2022 東京証券取引所プライム市場に移行
- 2008 エレクトロニクス商社で初めて特定輸出者として認証
- 2007 フォーサイトテクノを子会社化
- 2005 丸文ウエストを設立
- 2001 東京証券取引所市場第一部上場
- 1997 東京証券取引所市場第二部上場
- 1965 集積回路を国内で初めて輸入販売
- 1961 金沢支店を分社し、丸文通商を設立
- 1952 Rocke International社と代理店契約し、独自の米国製機器の輸入販売を開始
- 1947 機械器具、日用雑貨類の販売と輸出入を目的に丸文株式会社を設立
- 1897 呉服問屋を停止し、資産管理を目的に堀越事務所を設立
- 1844 現本社所在地で呉服問屋「堀越」（屋号「丸文」）を創業

海外

- 2017 ハンガリーに現地法人を設立
- 2014 インドネシア、メキシコに現地法人を設立
- 2013 深センに現地法人を設立
- 2006 マレーシアに現地法人を設立
- 2002 フィリピン、上海に現地法人を設立
- 2001 タイに現地法人を設立
- 1999 米国Arrow Electronics社と折半出資でMarubun/Arrow USA,LLCを設立
- 1998 米国Arrow Electronics社と折半出資でMarubun/Arrow Asia,Ltd.を設立
- 1994 香港に現地法人を設立
- 1989 台湾に現地法人を設立
- 1988 シンガポールに現地法人を設立
- 1968 米国駐在事務所を設置

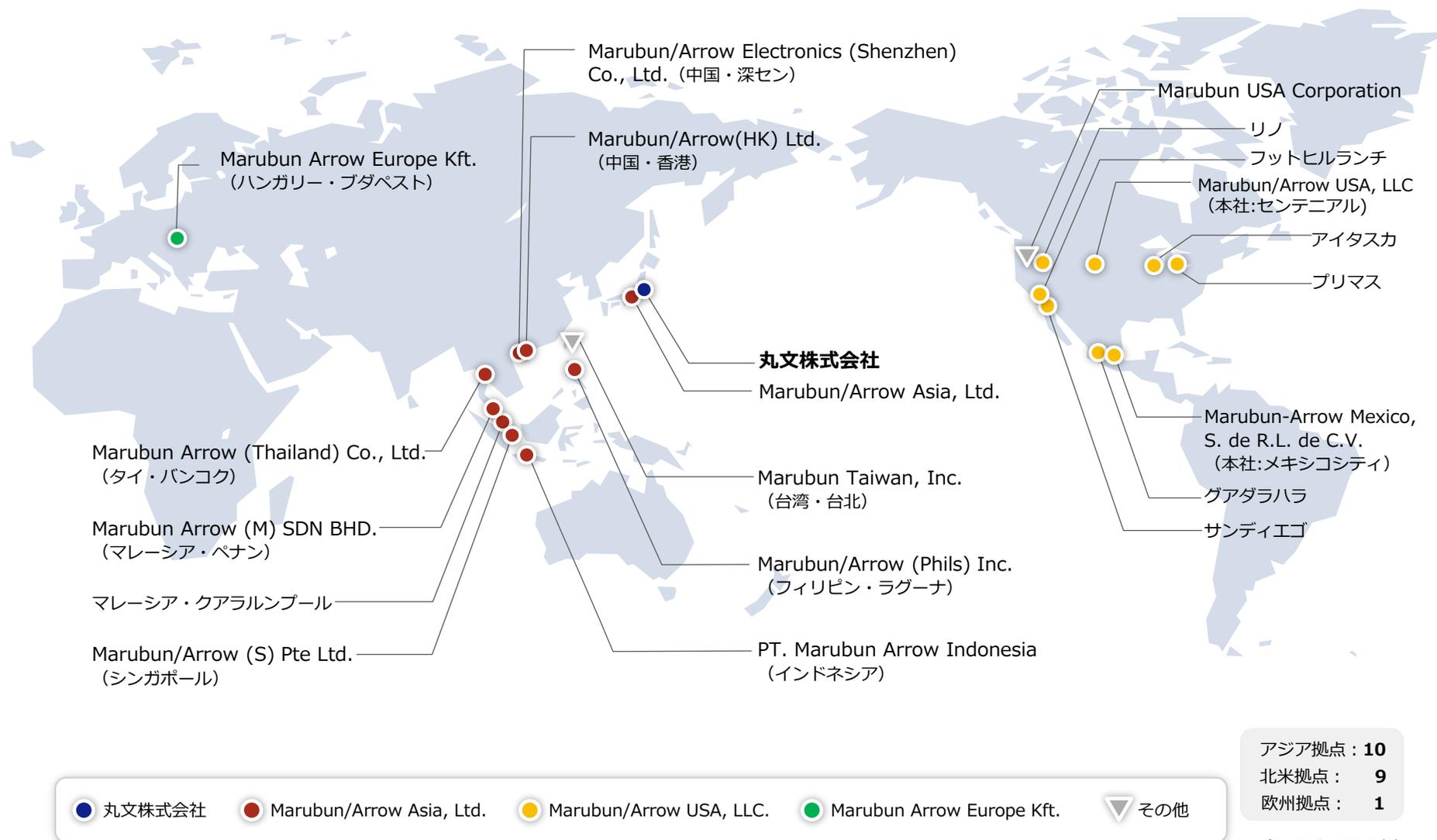
関係会社



国内拠点

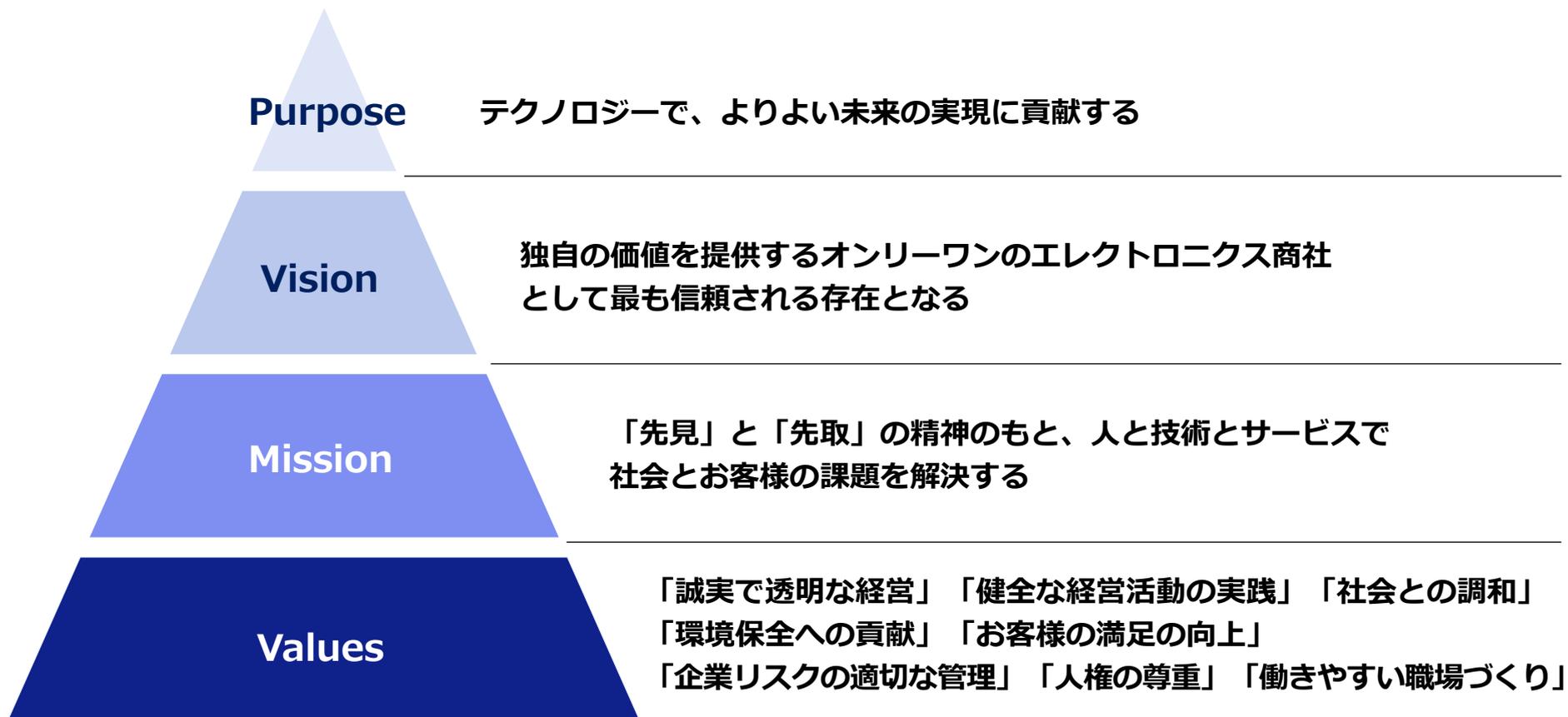


グローバルネットワーク



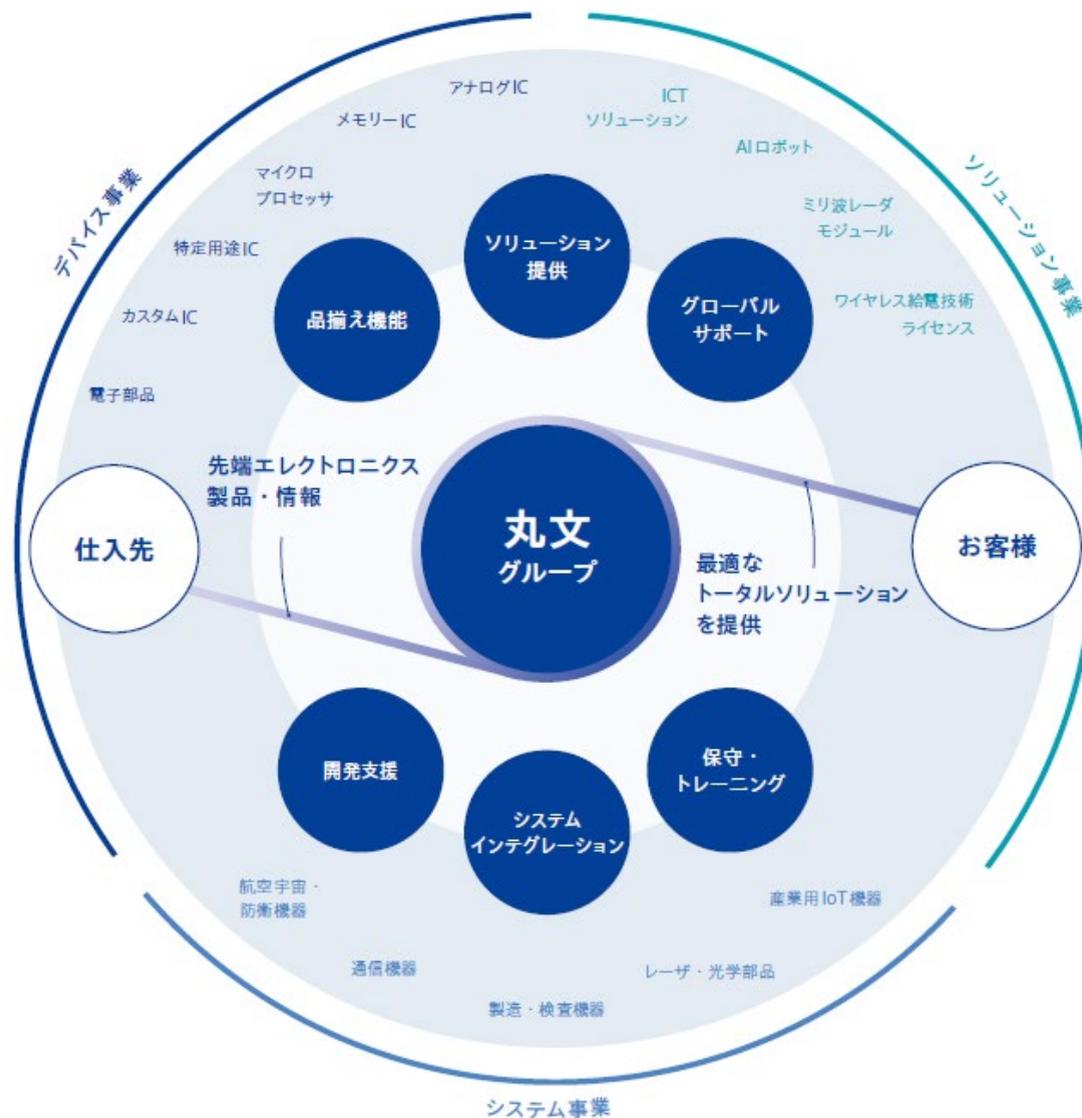
アジア拠点 : 10
 北米拠点 : 9
 欧州拠点 : 1

(2022年5月現在)



事業内容

- ▶ 丸文の「6つの機能」が仕入れから運用までフルサポート
- ▶ エレクトロニクス商社として、「お客様のメリットに直結するソリューション」を最適な形で提供



デバイス事業：主要取扱い製品

品目 主要仕入先 (アルファベット順)	半導体					電子部品		
	アナログIC	メモリーIC	マイクロプロセッサ	特定用途IC	カスタムIC	電子部品	電子機器	その他
	標準アナログ、 センサー、 ディスプレイ	フラッシュ、 DARAM	MPU、MCU、 DSP	ASSP、LED	カスタム、 ASIC、FPGA	ディスプレイ、 水晶振動子、 コネクタ・ スイッチ・基板	IoT機器、 医療機器	パワーサブライ、 ボードPC、 ソフトウェア、 IPライセンス
エイブリック	●	●						
Analog Devices	●		●	●		●		
旭化成エレクトロニクス	●		●	●	●			
Broadcom	●			●	●	●	●	●
eYs3D				●			●	
GOWIN					●			
Infineon Technologies		●	●	●				
ISSI	●	●		●				
Microchip	●	●	●	●	●	●		
Molex						●		
MPS※	●							
Nuvoton	●		●	●	●			
Qorvo	●			●				
セイコーエプソン			●	●	●	●	●	
SEMTECH	●			●				
Synaptics			●	●				
TE Connectivity	●					●		
VISHAY	●			●				●
Western Digital		●						

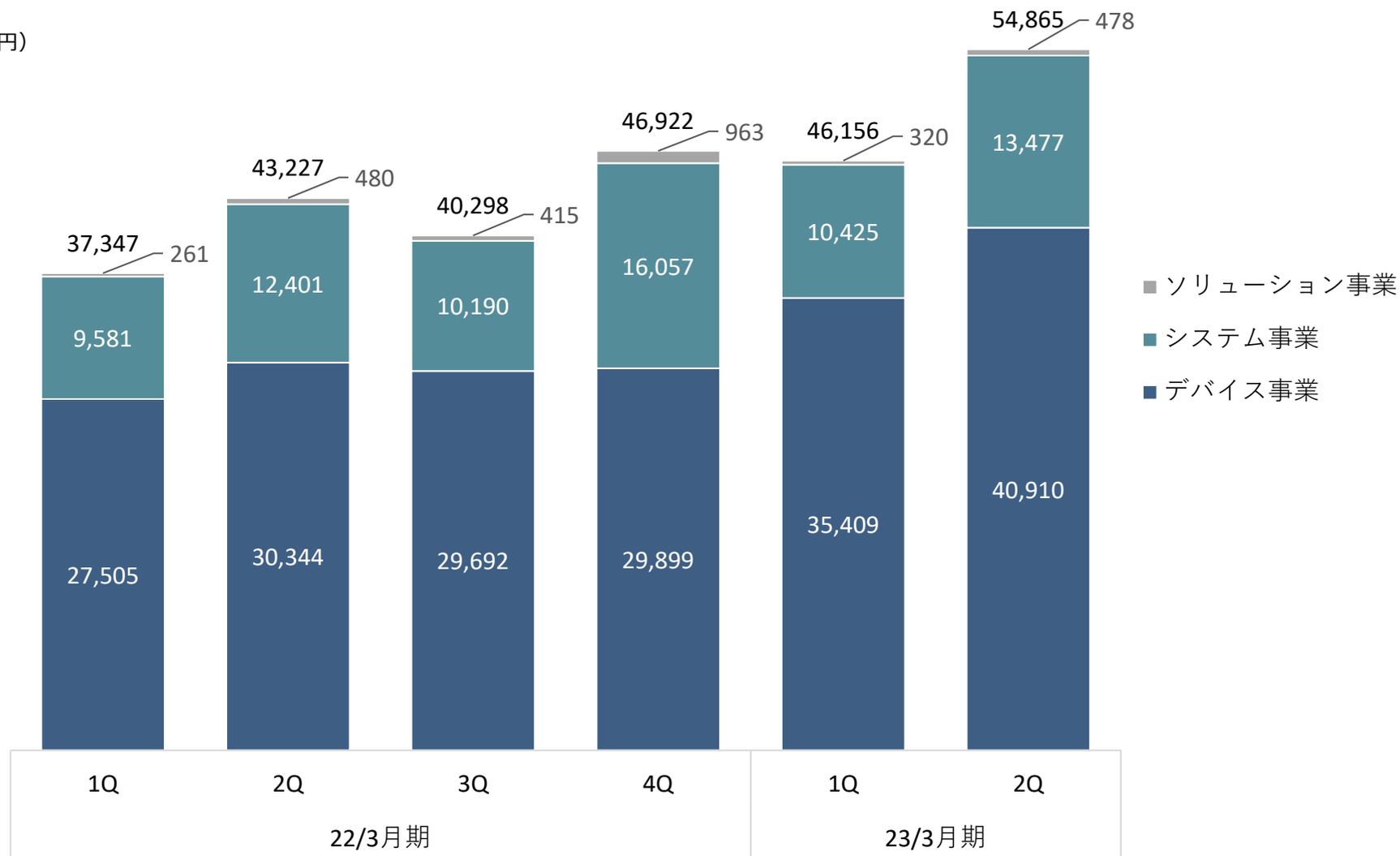
※：Monolithic Power Systems, Inc.

システム事業：主要取扱い製品

分野	主要商品	主要仕入先
航空宇宙機器		
航空関連機器	レーダーシステム、ポアサイト整備機材、テレメトリ受信・変復調装置、データ収録装置、アンテナ、耐環境ディスプレイ、フライト/ドライビングシミュレータ、係留型飛行船	SAAB AB、Textron Systems、L3Harris Technologies Telemetry & RF Products、Communication & Power Industries、ScioTeq bvba、TREALITY SVS Belgium BV、Ansible Motion、Raven Aerostar
宇宙関連機器	宇宙用高信頼性部品、光学エンコーダ、各種ボード機器	Comtech Space Components and Antennas、Sensitron Semiconductor、BEI Precision Systems & Space、Aitech Defense Systems、STMicroelectronics
高周波電子機器	クライスト論、進行波管、増幅器、アンテナシステム、導波管及び同軸コンポーネント、電力計	Communication & Power Industries、Bird Electronic
計測機器、各種センサ	各種センサ（加速度、圧力、荷重、マイクロフォン、角速度（変位）、近傍スイッチ、データ収録解析装置、衝突試験用ハニカムバリア、部分放電監視機	PCB Piezotronics、日本ベーカーヒューズ、日本ハネウエル ジャパン、DTS、G.R.A.S. Sound & Vibration A/S、mg-sensor、電子応用、PLASCORE、IRIS Power
産業機器		
検査装置	3次元X線検査装置、ロックイン発熱解析装置、温度特性検査装置、Wafer検査装置、自動検査システム	ユー・エイチ・システム、日本エフイー・アイ、ハイメック
製造装置・組立装置	電子部品組立装置、ICテストハンドラー、精密接合装置、大気圧プラズマ表面改質装置	アキム、NSテクノロジーズ、山岡製作所、日本アビオニクス、FUJI
組み込みソリューション	BUS型CPUボード、各種PCボード、AI Solutions	SMART Embedded Computing、Aitech Systems、ADLINK Technology、Gorilla Technology
レーザー光特性計測器、光学計測装置	ファイバー光学センサ、高分解能分光器、動的/静的光散乱測定装置	LaVision、LTB Lasertechnik Berlin、ALV
レーザー機器		
半導体レーザー・レーザー加工機	高出力半導体レーザー、産業用ファイバーレーザー、産業用フェムト秒レーザー、レーザー加工装置	nLIGHT、Laserline、Amplitude、NUTECH
光学部品	LED、半導体レーザー、フラッシュランプ、キセノンランプ、各種センサ、光学モジュール、光源装置	Excelitas Technologies、Luminus、First Sensor AG、Young Optics、ViALUX、United Power Research Technology
医用機器		
画像診断機器	MRI、CT、DR/X-ray、超音波診断装置	島津製作所、シーメンスヘルスケア、コニカミノルタジャパン、富士フイルムヘルスケア
人工透析機器	人工透析装置、ダイヤライザー、血液浄化システム	日機装、旭化成メディカル、カネカメディックス
臨床検査機器	臨床検査機器	シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス、ベックマンコールター

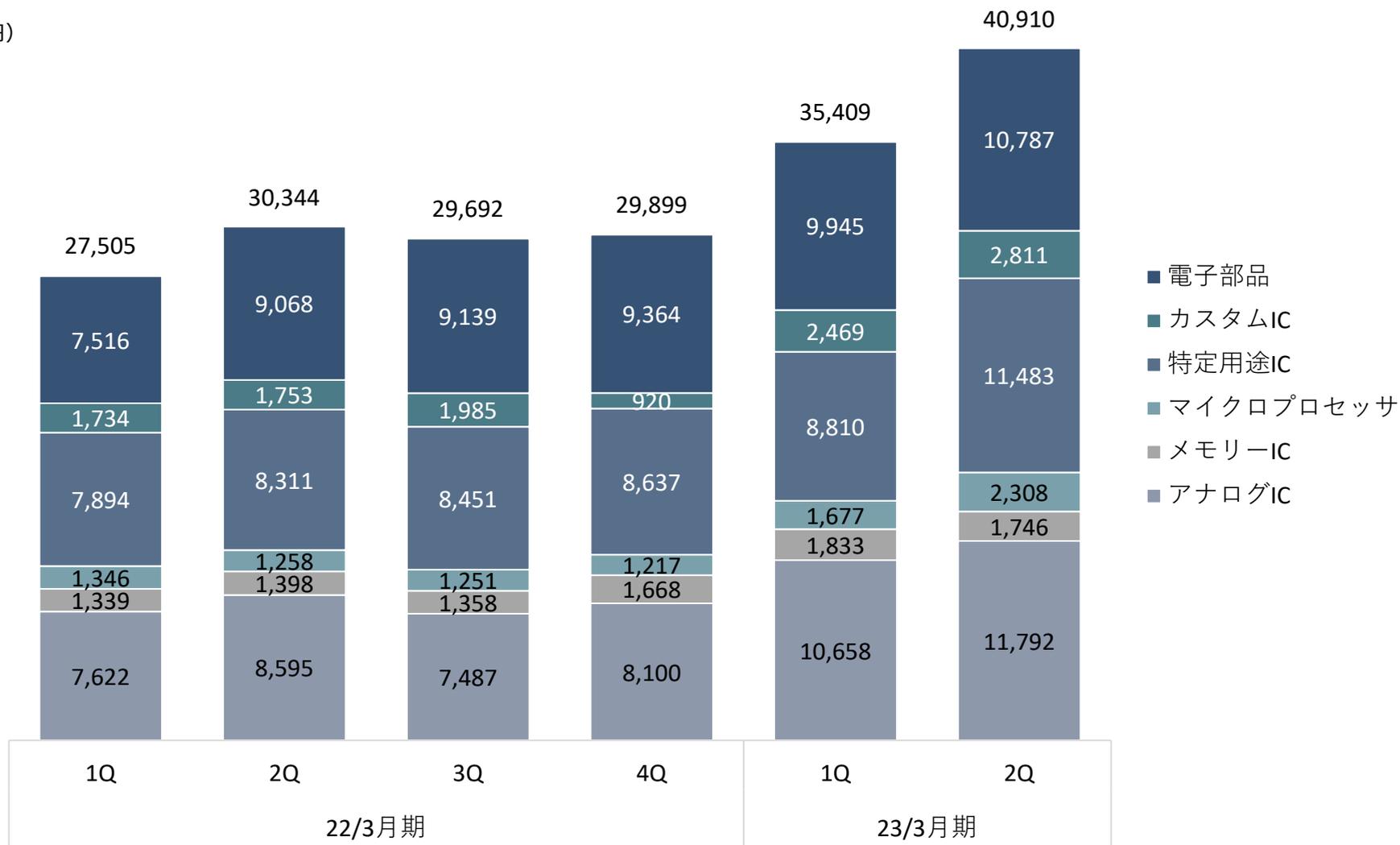
業績四半期推移（事業別売上高）

(百万円)



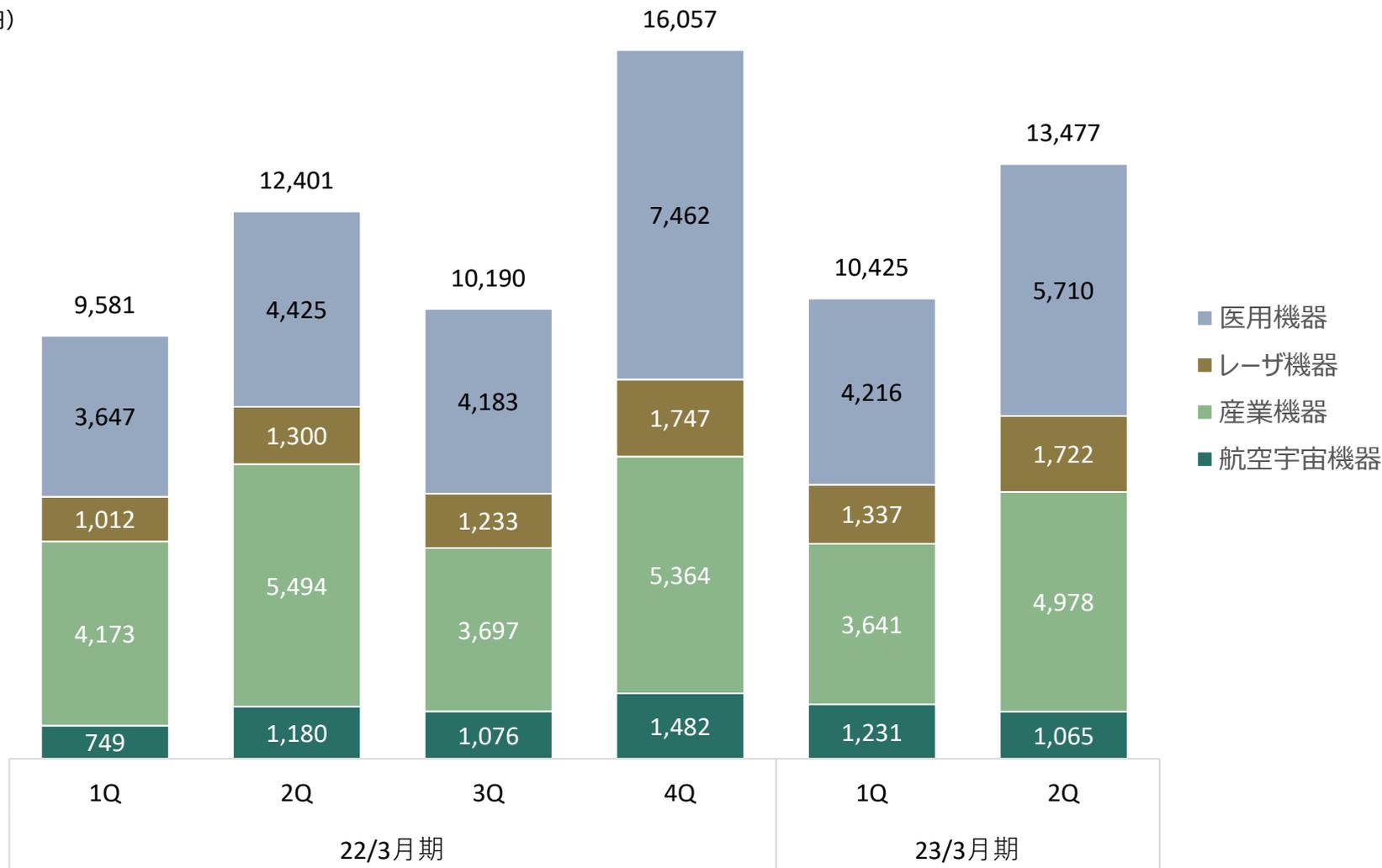
業績四半期推移（デバイス事業：品目別売上高）

(百万円)



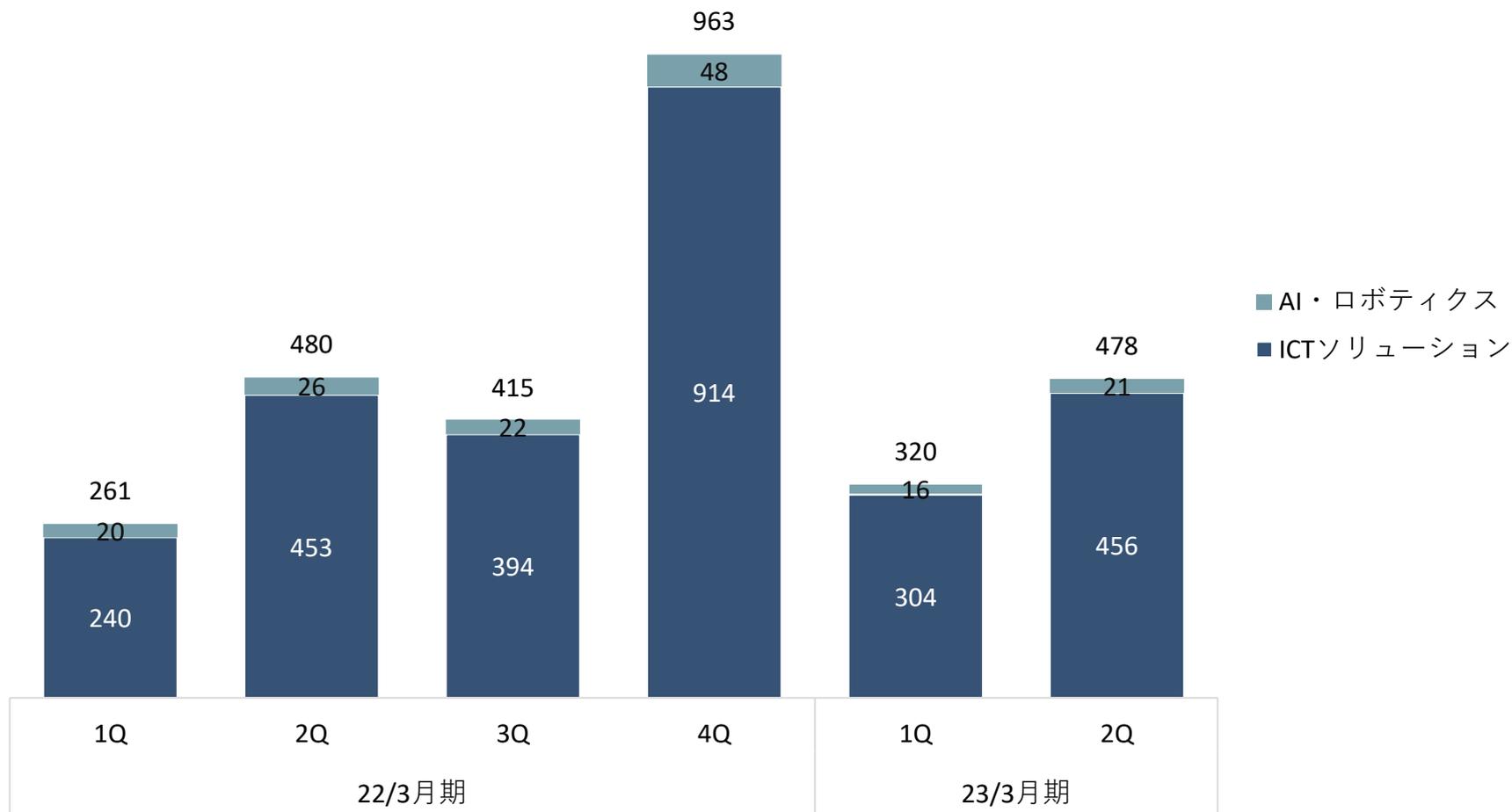
業績四半期推移（システム事業：品目別売上高）

(百万円)



業績四半期推移（ソリューション事業：品目別売上高）

（百万円）



本資料お取り扱い上のご注意

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な重要な要素により異なる可能性がありますことをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

丸文株式会社 経営企画部

E-mail : ir@marubun.co.jp